

「残業が多すぎる‥」「お給料が増えない‥」
「職場でハラスメントが起きている‥」
‥もし、職場でこんなことが起こったらあなたはどうしますか?

＼でも、大丈夫!／

JR貨物労組(ろうそ)は、そんな「困った」を解決するために存在します!

JR貨物労組は、JR貨物で働く仲間によって結成された組織です。
安心して働くことのできる会社を実現するために、
さまざまな取り組みをしています。
労働組合があれば、皆さんの「こうなったらいいのに」
という声を会社に伝え、
問題を解決することができるのです。





JR貨物労組がこれまで実現してきたこと

労働組合が社員の代表として会社側と交渉することによって、さまざまな制度を改善してきました。
ここではその一部を紹介します。

高卒初任給
発足当初 102,700円
▼
170,600円
(2019年4月から)

年間休日数
発足当初 94日
▼
109日まで
拡大

初年度有給休暇日数
発足当初 6日
▼
15日まで
拡大

半休制度
発足当初 なし
▼
半日単位の年休取得
(1992年10月)
以降取得事由の
拡大

インフルエンザ予防接種の補助
発足当初 なし
▼
上限4,000円
(2016年5月)
以降、配偶者や子へも
適用拡大

Question なぜ、労働組合が必要なの?



「労働組合がなくたって、会社の制度は整っているし、安心して働けるじゃないか」と思う方もいるかもしれません。
しかし、会社・職場では日々さまざまな変化や問題が起こります。
例えば、職場や制度の問題点を提案したり、改善を提案しようとしても、1人の意見では会社に届かないことがよくあります。1人で会社と交渉しようとしても、働く人(=労働者)の立場はどうしても弱くなってしまうものです。
そこで力を発揮するのが労働組合です。
労働組合があれば、集団として交渉する力が生まれ、1人では解決できない問題も、会社に伝えることができます。

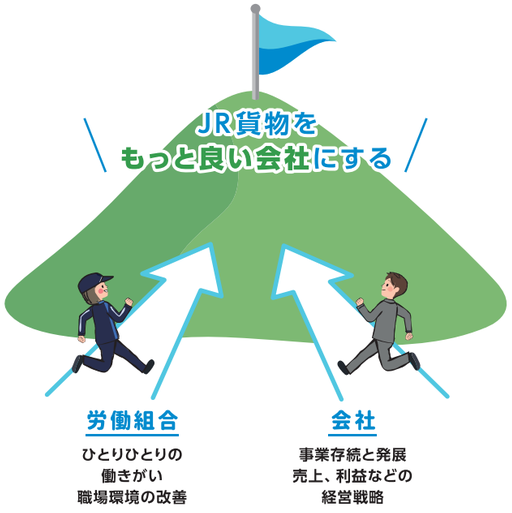
個人では解決が難しいことでも、
集団の力で解決へ導くことができる。
これが労働組合があることのメリットなのです。



Question 会社とどんな関係性なの?

労働組合について、「会社側と対立している」「会社からよく思われていない存在」というイメージを持っていませんか?
しかし、実際はそうではありません。
わたしたちがより良い給料や職場環境で働いていくためには、JR貨物という会社が存続・発展していくことが必要不可欠です。労働組合と会社は、どちらも「JR貨物をもっと良い会社にすること」という共通の目的を持っています。
ただし、会社側は売り上げや利益といった経営戦略を重視する一方で、労働組合は働く人の働きがいの向上や職場環境の改善を重視しています。そのため、時には意見の違いが生じることもあります。

労働組合は、会社に対して言うべきことは言い、
協力すべきときは協力する存在です。
立場は違えど、お互いにより良い会社を目指しているのです。





労働組合があることは
会社側にとっても
メリットがあります

- 社員の生の声が聞ける
- 風通しの良い職場になる
- 労使※の信頼関係の向上

※労使:労=労働者、使=使用者(会社)のこと